

日時

令和6年**2月18日** (日)

10:00～13:00 (受付9:30～)

会場

## ハイブリット開催

① **会場参加** ※定員80名

群馬県生涯学習センター 4F第1研修室

前橋市文京町2-20-22

② **オンライン参加** (zoom)

締切後メールにてzoomID等お知らせします

演題

## 歯科医療安全の視点から考える 良質補綴のためのアナログとデジタルのポイント

I 補綴装置の品質と感染予防

II 補綴装置に関わるトラブル発生時と医療紛争への対応

III システムとして関わるデジタル活用事例

講師

株式会社ラボコミュニケーションズ 代表取締役

**佐野 隆一先生** (日技認定講師)



【受講料】 無料

【対象】 歯科技工士・歯科医療関係者・学生及び一般

【申込み方法】 QRコードまたはFAX (裏面)

<https://forms.gle/jSmsGpZFHexyzGFj8>



【申込締切】 令和6年2月9日

【後援】 厚生労働省 公益社団法人日本歯科技工士会

日技会員は生涯研修当日「歯科技工士生涯研修カード」の持参をお願いします

## お問い合わせ先

公益社団法人群馬県歯科技工士会事務所

前橋市江田町593-1 2-D

mail : gun-gi@bay.wind.ne.jp TEL : 027-254-4341





**講師抄録** 補綴再製をいかになくすか？というのをテーマに活動をしてきました。2018年に出版された拙著『補綴再製をなくすための臨床テクニック24』は第3刷となり、2023年9月には書籍第2段となる『質の高い補綴のための核心24』を上梓することとなりました。「日常臨床のトラブルをなくしたい」「良質な歯科医療を提供したい」というのは多くの歯科医師、歯科技工士の方々が思っていることなのだとあらためて感じています。

近年デジタルデンティストリーも普及してきました。ただ、より良い補綴物を提供するためには、チェアサイドとラボサイドの連携はあった方がいい、というのはこれまでと同じです。チェアサイドでもデジタル機器を導入することで補綴装置は作れるようになってきましたが、ラボサイドが携わると何が違うのか、ラボサイドと連携をとるには何がポイントになるのかをお互いに理解していると、補綴のクオリティはこれまで以上によくなるでしょう。

それと同時に、歯科医療に求められる安全性というものも重要となっています。これまで、感染予防としての印象や模型の消毒など、私たち医療従事者に対する安全性が多く語られてきましたが、これからは、その補綴装置が患者さんに与える影響、安全性なども考慮する必要があります。これは単に生体親和性の高い材料を使う、といったことだけでなく、医療事故や医療紛争などにも補綴装置製作者としてどう関わるか、ということではないでしょうか。

時代に変化に合わせてどう対応していけばいいのか？私自身の技術やコミュニケーションの考え方、具体的な取り組みなどを一つの事例としてお伝えしていくことで、歯科技工のこれからを一緒に考えていければ幸いです。

歯科医療安全研修会は歯科医療関係団体（歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士）と群馬県が連携し、歯科医業を行なう医療機関等に置ける医療安全の確保を効率的に推進し、安全で質の高い歯科医療提供体制を整備するための研修会。

**\*\*FAXからのお申し込みはこちらです\*\***

## 生涯研修参加申込書

群馬県歯科技工士会 **FAX 027-254-4327**

お名前(ふりがな)

会員

会員外

歯科技工士  歯科医師  歯科衛生士  学生  その他 ( )

【ご連絡先】 電話番号 ( )

FAX番号 ( )

mail @

※zoom参加の方は必ずご記入お願いします

【ご住所】 〒 -

【受講場所】  会場  オンライン参加 (zoom)